

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編

資料 4

方策1 豊かな水を活かしたまちづくりの推進

具体的な取 り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール					理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗 状況	5年後までに	進捗 状況	10年後までに			進捗 状況	部 会	評 価
①水質の保 全	河川の清掃活動の日を定め、定期的な河川の清掃を行うとともに、子どもたちの水環境に対する意識の啓発を行う。また、地域内の水環境を完全に整備することで、安全で安心な水質の管理を行う。(合併市町村基本計画付議事項)	1. 定期的な河川の清掃活動 2. 子どもたちの水環境に対する意識啓発(生き物調査を通じた河川の水質調査等)		3. 公共上下水道の整備推進 4. 合併処理浄化槽設置の推進				1. 一部の自治会や多面的機能支払交付金制度を活用している組織については、清掃活動(整備)を実施している。 2. 多面的機能支払交付金制度を活用している組織については、農村環境整備の一環として、生き物調査(子どもたちを含め)を実施し、水環境の大切さなど啓発や整備に努めている。 3. 事業計画面積(248.2ha)に対する整備率 平成26年度・・・70.3% (実績累計174.4ha) 4. 市広報紙, 市HP等で周知している。	に ぎ わ い づ く り 部 会	A	・行政, 自治会・リサイクル推進協議会が一体に動けば可能 ・身近な所での活動, 例えば各自が自宅前の川をきれいにすると いった意識付けが必要
②蛍マップ の作成	蛍の生息地調査を基に蛍マップを作成するとともに、定期的な河川の清掃を行い、蛍が生息しやすい環境を維持する。	1. 蛍の生息地調査 2. 蛍マップの作成		3. 蛍マップに基づく河川の清掃 4. 蛍マップを地域内に周知			1. 環境に配慮した農業(減農薬, 減化学肥料)の実施に取り組む農家が増えつつあるためか、蛍の生息地域は確実に戻りつつある。 豊かな農村環境を有しており、その資源であるほたるの生息地の把握は必要であると考え。自然保護の観点では、公表資料は作成しない方が良いとの意見もある。 2. 1と同じ。 3. 農村環境を維持していくために定期的な河川の清掃は必要であり、一部の自治会や他団体により行っている状況もある。 4. 1と同じ。	に ぎ わ い づ く り 部 会	C	・蛍のマップの作成は自然保護のためやらない方が良い	
③豊かな水 の活用	小水力発電を検討し、豊かな水資源を活用したまちづくりに繋げる。			1. 小水力発電の可能性について検討		2. 小水力発電の実施		1. 小水力発電については、技術的なノウハウや財源, 各所管法令など一部行政主導で行わないと難しい状況がある。 2. 1と同じ	に ぎ わ い づ く り 部 会	C	・行政がやるべき

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編

方策2 地域ぐるみの環境保全活動の推進

具体的な取り組み	内容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
④ごみ「0」運動の促進	毎月、清掃の日を定め、地域全体で定期的な清掃を行うとともに、地元の小中学生にごみ「0」運動に関する啓発ポスターを依頼し、不法投棄があるような場所に設置することで、ごみ「0」の地域を定着させる。	1. 定期的な自宅周辺の清掃活動を実施 2. 地域の清掃日を定め、地域全体で清掃活動を実施 (月1回) 3. 地元の小中学生に啓発ポスターを依頼し、不法投棄場所に設置							1. 市全体の一斉清掃や自治会独自の清掃日を設けて行っている状況はある。 2. 1と同じ 3. 夏休みの自由研究課題として、地域内3小学校の児童にごみを減らすポスターを募集しており、そのポスターを各自治会公民館や公の施設に貼付し啓発していく予定である。	安全・安心部会	A	・実施することは可能であるが、実施方法や体制(自治会を中心に取り組むなど)再検討する。
⑤花とみどりのまちづくり	ガーデニング講座やガーデニングコンテストの開催により、地域ぐるみで景観美化活動を推進する。			1. ガーデニング講座の開催 2. ガーデニングコンテストの開催					1. 地域の景観美化活動を推進する観点でのガーデニング講座は実施されていない。 2. 単位自治会における花壇などは、育成会・老人会などが整備しているところもあるが、ガーデニングコンテストとなると、地域全体や個人への働きかけ等が必要になってくる。	安全・安心部会	A	・自治会によって実施主体(育成会・老人会)が異なるので、実施方法や体制については検討する

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編

方策3 耕作放棄地や荒廃森林の有効活用の推進

具体的な取り組み	内容	手法・スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
⑥耕作放棄地の再生	耕作放棄地で草花の作付けや農業体験学習を行い、耕作放棄地を有効に活用する。	1. 耕作放棄地の利用調査 (他事例等) 2. 耕作放棄地の活用方法と場所を選定		3. 耕作放棄地に草花を作付け 4. 耕作放棄地を農業体験学習に利用					1. 各関係部署との連携がうまく取れず、また、地権者の意向もあり、進んでいない。 2. 個人的に貸す等はしているらしい 3. 耕作放棄地の把握ができていない。 4. 耕作放棄地の把握ができていない。	文化・交流部会	C	・「アグリ」に組み込まれている ・人が増えれば大きくできるようになるが、JAでやってもらったほうがよい
⑦荒廃森林の再生	地域ボランティアの活動協力を得て、荒廃した森林の間伐を推進し、森林全体を健康にしていくとともに、間伐材を有効に活用する。			1. 地域ボランティアの協力を得て、荒廃森林の間伐事業を推進 2. 間伐材を有効に活用					1. 地域ボランティアの確保ができていない。 2. 一部、とちぎの元気な森づくり事業を利用して実施している。			

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」

※ は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編

方策4 自然を活かした景観活用交流の充実

具体的な取り組み	内容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
⑧地域資源の発見	地域資源育成保全を行うボランティアを募集し、地域に眠っている資源を発掘するとともに、発掘した地域資源と梵天の里歩こうマップを連結させ、地区外の人との交流を深める。	1. 地域資源育成保全ボランティアの募集 2. 地域資源の発掘調査 (梵天の里歩こうマップ等を活用)		3. 発掘した地域資源を小冊子にまとめ、各公共施設に設置 4. 美しい景観地や名所旧跡等の維持管理を強化					1. 随時会員募集中 2. だいだらぼうの会では、新パンフレット作成のため予算化し、準備を進めている。 3. H23に作成したマップをすでに各公共施設に設置済 4. 景観地の管理として草刈などを実施している。	にぎわいづくり部会	実施済み	・マップを作成し実施している
⑨山田川サイクリングロードの整備	山田川サイクリングロードを整備し、サイクリングターミナルを設置するとともに、サイクリングロード沿いを花でいっぱいにする。			1. 山田川サイクリングロードの整備 2. ロード沿に花を植栽		3. サイクリングターミナルの設置		1. 未実施 自転車のまち宇都宮を推進し、今後、未整備箇所の整備を予定。 2. 未実施 3. 未着手 梵天の湯が自転車の駅とされている。	にぎわいづくり部会	B	・まちづくり懇談会にて行政へ要望済み ・市長からの回答を得ているので、整備後(植栽など)なら部会で対応可能	
⑩ハイキングコースの整備	羽黒山周辺のハイキングコースを整備し、羽黒山周遊コースと名所旧跡と連結させた地区内ハイキングコースを設定する。			1. 羽黒山周辺のハイキングコースを整備 2. 名所旧跡等と連結させ、地区内ハイキングコースを設定				1. 既に実施している。 2. 梵天の里歩こうマップを作成している。 梵天の湯では紫陽花ロードや羽黒山神社、だいだら坊の岩などを巡るハイキング事業を実施している。	にぎわいづくり部会	A	・だいだらぼうの会で、案内看板の設置を行い、コースの整備を実施中	
⑪西鬼怒川堤の整備	西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、上河内の桜の名所に位置づけることで、地域内外の人との交流を推進する。					1. 西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、桜の名所に設定		1. 高間木地区に、H26. 12月に同地区有志による黄桜が植栽されたことがある。	にぎわいづくり部会	C	・桜を植える場所による許認可、予算面の問題がある ・桜ではなく草花ならば可能	

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編

方策5 災害に強い地域づくりの推進

具体的な取組み	内容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
⑫災害対策の強化	災害に関する地域調査を行い、地域に合った災害対策を検討するとともに、多くの住民参加による防災訓練を通じ、各自治会の連携を強化するなどして防災意識を高める。	1. 災害に関する地域調査 2. 上河内版ハザードマップの作成 3. 地域全体で防災訓練を実施 4. 災害時緊急用具を適正保管							1. 行政で災害に関する地域調査を実施し、ハザードマップを作成しているが、地域としての調査・作成は行っていない。 2. 1と同じ 3. 地区防災会主体で地区の防災訓練を実施しており、平成27年度より3年間学校区単位で訓練を開催し、4年目に全体で実施する予定である。 4. 地区防災会において、年に1回地区防災倉庫等の点検を行っており、今後も継続していく。	安全・安心部会	A	・現在実施していることを継続するとともに、自治会の協力を得ながらハザードマップの作成などの実施を検討する
⑬井戸水マップの作成	地域にある井戸水調査（場所・水質）を行い、調査に基づく井戸水マップを作成することで、災害時の飲料水を確保する。	1. 地域にある井戸水調査（場所・水質） 2. 井戸水マップの作成		3. つるべ井戸の設置					1. 地域としての調査・作成等は行っていない。 2. 1と同じ 3. 1と同じ	安全・安心部会	A	・地域にある井戸水を把握し、井戸水調査を行い、災害時に対応できるよう検討する

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む),「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」